

1.免許取得に必要な科目と開講科目一覧

以下のすべての科目を履修することが必要である。

	免許法施行規則に定める科目	単位数	大学の開設授業科目(養選必修)	配当年次	単位数	計
教科(養護)に関する科目	衛生学及び公衆衛生学 (予防医学を含む)	4	公衆衛生学△ 疫学△ 健康科学論	3年 後期 4年 後期 2年 後期	2 1 1	4
	学校保健	2	学校保健 学校保健管理論	2年 後期 4年 前期	2 1	3
	養護概説	2	養護概説	4年 後期	2	2
	健康相談活動の理論及び方法	2	健康教育学△ カウンセリングの理論と実際	3年 前期 2年 後期	1 1	2
	栄養学(食品学を含む)	2	栄養代謝学△	1年 通年	2	2
	解剖学及び生理学	2	人体の構造と機能△	1年 通年	4	4
	微生物学、免疫学、薬理概論	2	生体防御機構△ 薬理学△	1年 前期 2年 通年	1 2	3
	精神保健	2	精神看護学概論△ 精神看護学各論△	2年 後期 3年 後期	1 2	3
	看護学 (臨床実習及び救急処置を含む)	10	基礎看護学各論Ⅰ△ 基礎看護学各論Ⅱ△ 基礎看護学各論Ⅲ△ 基礎看護学各論Ⅳ△ 成人看護学各論Ⅱ△ 成人看護学実習(慢性期)△ 母性看護学概論△ 母性看護学各論△ 小児看護学概論△ 小児看護学各論△ 小児看護学実習△ 地域看護学各論△	1年 前期 1年 通年 1年 後期 1年 後期 3年 前期 3年 後期 2年 後期 3年 前期 2年 後期 3年 前期 3年 後期 3年 前期	2 2 1 1 2 3 1 2 1 2 2 2	21
	教科又は教職に関する科目	7	上記科目に含まれる			
合計	35	合計		44	44	
教職に関する科目	教職の基礎的理解に関する科目	9	教育学概論△	2年 前期	2	2
			教職入門	2年 後期	2	2
			教育心理学	1年 後期	2	2
			特別支援教育概論	2年 後期	1	1
			教育課程論	2年 前期	2	2
	道徳、総合的な学習の時間の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	7	道徳、総合的な学習の時間の理論と実践	3年 後期	2	2
			生徒指導論	3年 後期	1	1
教育方法論			3年 後期	2	2	
教育実践に関する科目	5	養護実習	4年 前期	5	5	
		2	教職実践演習(養護教諭)	4年 後期	2	2
合計	23	合計		23	23	
則に定める科目	日本国憲法	2	日本国憲法	2年 後期	2	2
	体育	2	フィットネスの理論と実技△	1年 通年	2	2
	外国語コミュニケーション	2	英語Ⅰ△	1年 通年	2	2
	情報機器の操作	2	アカデミックスキル演習Ⅰ△ アカデミックスキル演習Ⅱ△	1年 通年 2年 前期	2 1	3
	合計	8	合計		9	9

△印は、卒業に必要な必修科目

2. 履修規程（学則：第4章授業科目の履修および修了の認定 第10条授業科目の履修）

学則第10条関係 授業科目履修に関する規程

第2条の養護教諭一種免許課程について

1. 養護教諭に係る専門科目（学則9条別表Ⅱ）

養護教諭一種免許課程の選択必修科目は必ず履修すること。

2. 履修期間

原則として1～4年次で履修するものとする。

3. 養護教諭一種免許課程の科目履修手続

1) 養護教諭一種免許課程の選択必修科目を履修するものは大学が指定する説明会に参加することを条件とする。

2) 履修計画に基づき、年度ごとに、養護教諭一種免許課程の選択必修科目履修届を提出する。

3) 養護教諭一種免許課程の選択必修科目である教職実践演習（養護教諭）および養護実習について次項に定める。

4. 教職実践演習（養護教諭）および養護実習について

1) 教職実践演習（養護教諭）および養護実習を履修しようとする者は、1～3年次開講の養護教諭一種免許課程で定める必修科目、選択必修科目を履修していることを前提とする。

2) 養護教諭一種免許課程登録願および教職実践演習（養護教諭）、養護実習履修届を学務課に提出すること。

3) 教職実践演習（養護教諭）、養護実習履修登録者の演習・実習費は別途定める。

その他詳細については別に定める。

教職担当教員（専任）

職位 担当教員	専門領域	教職担当科目
教授 小川久貴子	母性看護学	(看護学部長) 教育方法論
教授 守屋治代	基礎看護学	教育学概論 教育方法論 養護実習 教職実践演習
教授 青木雅子	小児看護学	養護実習
教授 清水洋子	地域看護学	健康教育学
准教授 諏訪茂樹	社会学	養護実習 教職実践演習
准教授 高畑陽子	地域看護学	健康教育学
講師 金屋佑子	地域看護学	健康教育学
助教 本田順子	地域看護学	健康教育学

(2021.4月現在)